

# Ior 方式絶縁監視装置

## MLA-200IRV

**MULTI**

Let's Create  
New Concepts of  
Instruments

特許出願中

**安全・簡単！**  
**電圧入力不要の新しい**  
**Ior 方式の絶縁監視装置**



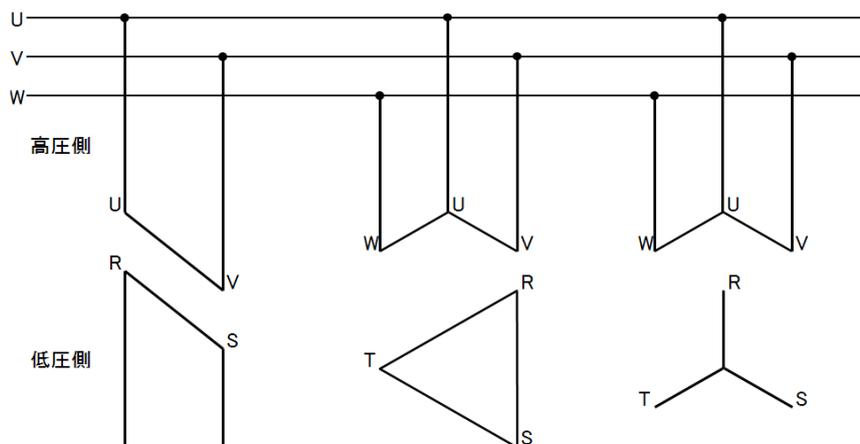
写真は開発中の製品です

### ■仕様

表示項目	抵抗分漏れ電流 (Ior)、漏れ電流 (Io)
測定範囲	0~1200mA
測定電路	単相 2 線/単相 3 線/三相 3 線
測定回路数	2 回路 (単相・三相の各設定が可能)
検出方式	漏れ電流 : CT クランプ方式 電圧 : 電源位相から計算
電流設定値	10~999mA (初期値 50mA)
検出精度	設定値に対して ±5%
動作時限	約 2sec
復帰値	設定値の 80%以下が 2 秒間継続後
警報出力	2 回路 a 接点出力 (AC40V 0.4A)
LED 表示	警報 2 回路
電源	AC80~240V
寸法重量	W130×H150×D38mm 約 400g
付属品	φ22mm 分割型 ZCT×2、電源コード

従来の Ior 方式での絶縁監視装置には測定回路の電圧または対地電圧の入力が必要ですが、現場の停電は難しく、活線作業での電圧入力作業は危険が伴い時間がかかります。MLA-200IRV は監視装置の電源位相を測定回路の電圧位相に変換し、ZCT で検出した漏れ電流と演算して Ior 値を測定します。

単相変圧器と三相変圧器の高圧側と低圧側の位相の関係図



単相変圧器は高圧側の三相の 2 相を使用している。低圧側の R-S の位相と高圧側の U-V の位相は同じ

低圧側が△結線の場合は、低圧側の R-S の位相は高圧側の U-V の位相から 30° 遅れている

低圧側が Y 結線の場合は、低圧側の R-S の位相と高圧側の U-V の位相は同じ

※カタログの内容は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。